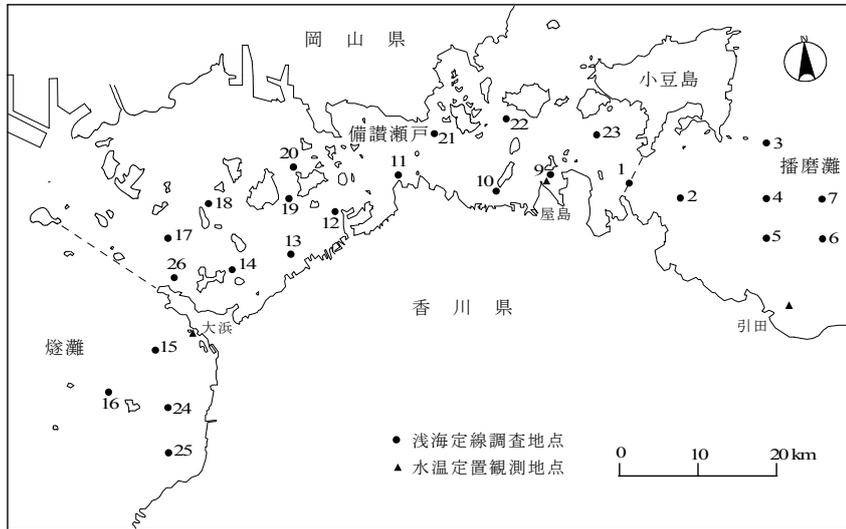


# 香川県漁海況速報 平成 21 年 9 月 (H21-6 号)

香川県水産試験場

## 1. 海況

### 1) 観測地点



### 2) 浅海定線調査

#### (1) 調査日

平成 21 年 9 月 2 日 (播磨灘), 1 日 (備讃瀬戸, 燧灘)

#### (2) 水質概況

平年と比較すると、水温及び塩分は「平年並み」、透明度は「平年並みからかなり高め」、溶存酸素は「平年並みからやや高め」であった。

9 月

		水 温 (°C)			塩 分 (PSU)			透 明 度 (m)	溶 存 酸 素 (ml/l)	
		表層	10m層	底層	表層	10m層	底層		表層	底層
播 磨 灘	7地点平均値	26.4	26.1	25.0	31.7	31.8	32.1	6.7	4.28	3.64
	平年値	26.7	26.1	25.1	31.7	31.7	31.9	7.9	4.44	2.99
	平年偏差	-0.3	0.0	-0.1	0.1	0.0	0.2	-1.1	-0.16	0.64
	標準偏差(σ)	0.9	0.8	0.9	0.7	0.7	0.5	1.9	0.50	0.59
	状 況	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み	やや高め
備 讃 瀬 戸	14地点平均値	26.8	26.5	26.2	32.0	32.1	32.1	4.9	4.19	3.91
	平年値	26.8	26.5	26.4	31.6	31.7	31.7	4.3	4.23	4.00
	平年偏差	0.0	0.0	-0.2	0.4	0.4	0.4	0.6	-0.04	-0.09
	標準偏差(σ)	0.9	0.9	0.9	1.0	0.8	0.8	1.1	0.30	0.28
	状 況	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み
燧 灘	4地点平均値	27.0	26.4	24.5	32.2	32.3	32.5	15.2	4.39	3.51
	平年値	27.6	26.2	24.7	31.7	32.0	32.2	10.3	4.54	2.69
	平年偏差	-0.5	0.2	-0.1	0.6	0.2	0.4	4.9	-0.15	0.82
	標準偏差(σ)	1.1	1.0	1.0	1.1	0.7	0.6	2.6	0.53	0.71
	状 況	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み	かなり高め	平年並み	やや高め

平年偏差 = 平均値 - 平年値

平年値の算出期間

水温、塩分及び透明度：昭和 48 年 (1973) 1 月～平成 13 年 (2002) 12 月

溶 存 酸 素：昭和 48 年 (1973) 2 月～平成 13 年 (2002) 12 月

水温は、毎月 1 日の値に補正。

平年並み  $0\sigma \leq \text{平年偏差} < 0.6\sigma$  ( $\sigma$  : 標準偏差)

やや高め (やや低め)  $0.6\sigma \leq \text{平年偏差} < 1.3\sigma$

かなり高め (かなり低め)  $1.3\sigma \leq \text{平年偏差} < 2.0\sigma$

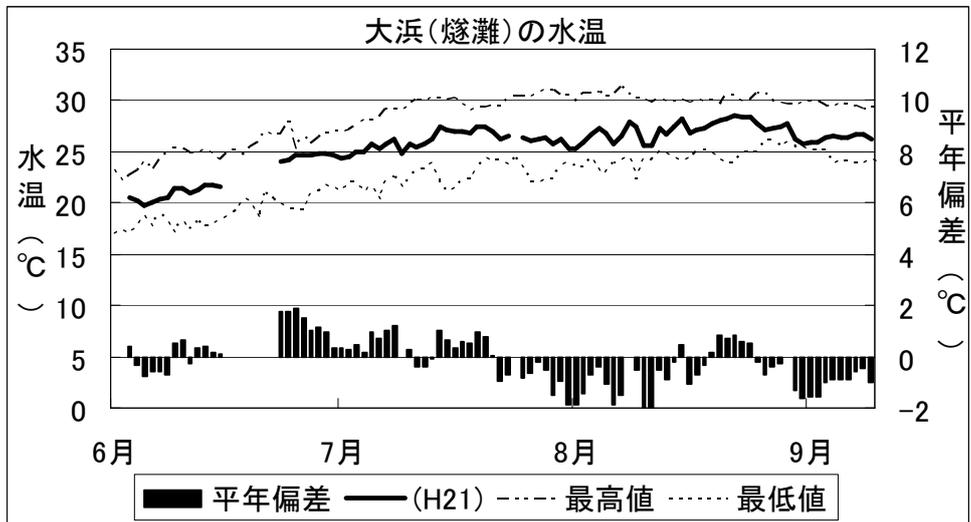
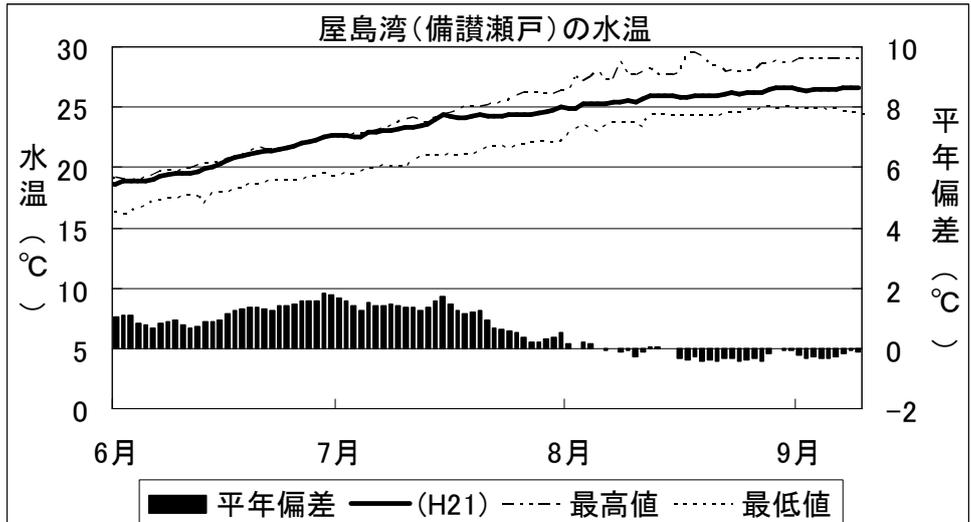
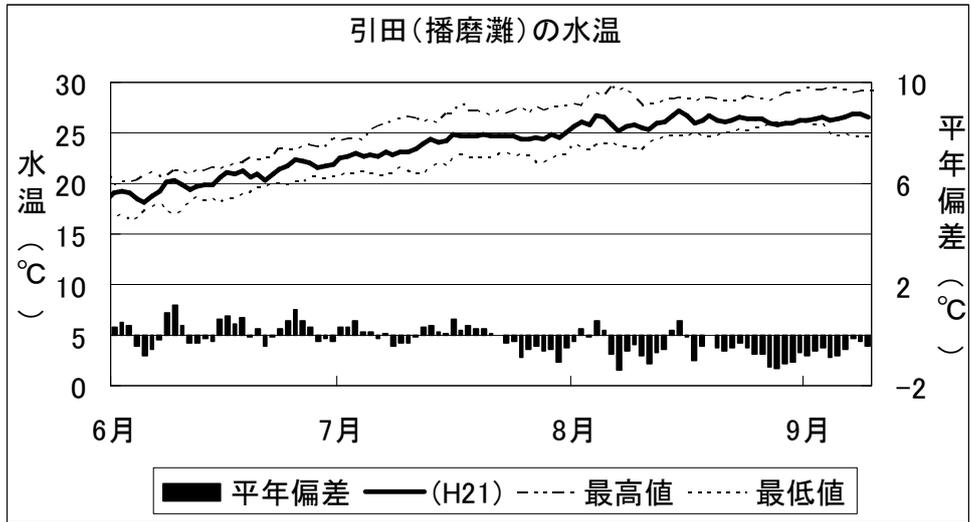
著しく高め (著しく低め)  $2.0\sigma \leq \text{平年偏差}$

### 3) 定置観測 (水温)

播磨灘 (引田) : 8月中旬まで概ね平年並みで推移していたが、その後、やや低めで推移している。  
 備讃瀬戸 (屋島) : 6月以降著しく高めで推移していたが、7月中旬以降はやや高めから平年並みで推移している。

燧灘 (大浜) : 6月中旬以降、概ね平年並みからやや低めで推移している。

平年値の算出期間 引田及び大浜 : 平成元 (1989) ~平成 20 (2008) 年  
 屋島 : 昭和 50 (1975) ~平成 20 (2008) 年



#### 4) 赤潮 (8月26日～9月17日)

播磨灘：発生なし。  
備讃瀬戸：発生なし。  
燧灘：発生なし。

#### 5) 卵稚仔

調査日：平成21年9月2日 (播磨灘), 1日 (備讃瀬戸, 燧灘)  
出現量

		カタクチイワシ		マイワシ		その他の魚類	
		卵	稚仔	卵	稚仔	卵	稚仔
播磨灘	平均値	50.4	0.4	0.0	0.0	19.8	8.4
	平年値	41.5	5.5	0.0	0.0		
	対平年(%)	121	7	-	-		
備讃瀬戸	平均値	1.5	0.1	0.0	0.0	9.1	2.3
	平年値	2.8	0.6	0.0	0.0		
	対平年(%)	52	11	-	-		
燧灘	平均値	11.0	0.3	0.0	0.0	2.0	2.7
	平年値	14.7	2.6	0.0	0.0		
	対平年(%)	75	11	-	-		
総平均	平均値	16.7	0.2	0.0	0.0	10.3	4.0
	平年値	23.2	4.7	0.0	0.0		
	対平年(%)	72	4	-	-		

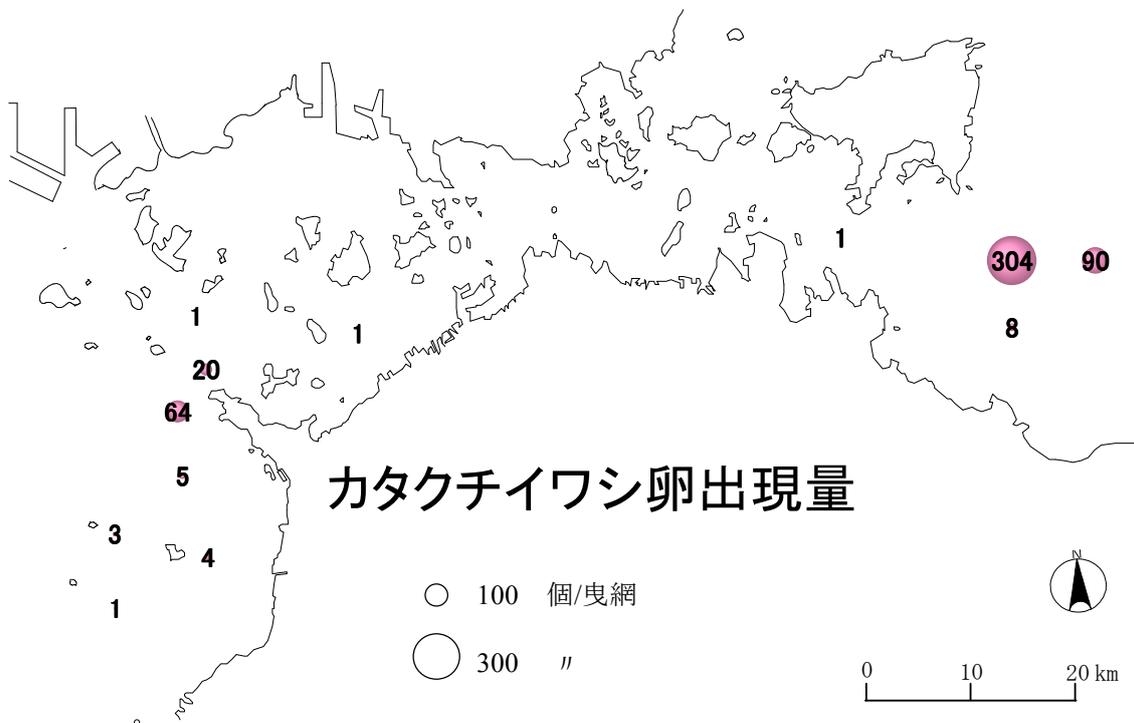
—：平年値が0の場合を示す。(その他の魚類については平年値がない。)

平年値の算出期間

カタクチイワシ：昭和55年(1980)～平成20年(2008)年度

マイワシ：平成5年(1993)～平成20年(2008)年度

各調査点でのカタクチイワシ卵の出現状況は、次のとおりである。



## 2. 漁況

8月からの漁況は次のとおりである

海 域	漁 況
播 磨 灘	<p>底びき網では、小型エビ類、イボダイ、ハモ、カマス、クルマエビ等が漁獲されている。</p> <p>柵網では、マアジ、マルアジ、ウルメイワシ、タチウオが漁獲されているが、全般的に低調である。</p> <p>東讃のしらす船びき網の8月の漁獲量は、前年を若干下回ったが、平年（1989-2004年）の約2倍であった。</p>
備 讃 瀬 戸	<p>底びき網では、ウシノシタ類、メイタガレイ、マダイ、マアナゴ、クルマエビ、小型エビ類、マダコが漁獲されている。</p> <p>まながつお流しさし網の8月の漁獲量は、前年同様低調であった。</p>
燧 灘	<p>底びき網では、アカカマス、マダイ、マアナゴ、タチウオ、小型エビ類、テンジクダイ、シロギス、マダコ、クルマエビ、シャコ、ガザミを漁獲している。</p> <p>柵網ではマアジ、サバ、マボラ、カワハギ、ガザミ、アオリイカが漁獲されている。</p> <p>イワシ機船船びき網の8月までの漁獲量は、前年の約1,3倍の約7,400トンであった。</p>